



2012年3月2日
国際協力機構（JICA）
カンボジア事務所

シアヌークビル港経済特別区に第一号進出企業決まる 王子製紙グループが新工場建設へ

現在カンボジア南部の都市シアヌークビルに円借款によって本年3月末完工予定で建設が進められている「シアヌークビル港経済特別区(Special Economic Zone)」に、第一号の進出企業が決まりました。進出するのは王子製紙グループの会社で、2月28日に開かれた同社取締役会にて、カンボジアに現地法人を設立し、新工場を建設することを決定しました。同社の発表によると、新会社名は Ojitex Harta Packaging (Sihanoukville) Ltd.で、総投資額は12億円。事業内容は段ボール箱・シートの製造および販売で、2013年初めの営業開始を目指しています。

シアヌークビル港経済特別区を進出先に選んだ理由として同社は「国内唯一の国際深海港を持つシアヌークビルに立地することに加え、日本国政府 ODA 事業として高水準のインフラが整備されている」点をあげています。

詳細は、同社ホームページ (<http://www.ojipaper.co.jp/>) をご覧ください。

<「日本ブランド」の工業団地～シアヌークビル港経済特別区～>

カンボジア唯一の深海港シアヌークビル港に隣接。広さ約70ヘクタール。2003年にJICAが実施した「首都圏・シアヌークビル成長回廊地域開発調査」で、カンボジアの輸出産業の多様化を促進することを目的として建設が提唱されました。2006年にエンジニアリングサービス実施のために総額3億1800万円の円借款を供与、続く2008年には経済特別区建設のための総額36億5100万円の円借款が供与され、2009年9月に着工しました。

同経済特別区の最大の特徴は、カンボジア政府のシアヌークビル港公社(PAS)が開発・運営し、日本のODA事業として建設されている点で、国内唯一の「公的な経済特別区」となり、日本の技術を駆使した高水準のインフラが大きなセールスポイントとなっています。

2011年、日系企業のカンボジアへの投資は約7500万ドル(19件=税制優遇を受ける適格投資案件のみ)と前年の3500万ドル(6件)を大きく上回りました。

2012年は日系製造業の水平分業拡大によるカンボジアへの進出増加、また大型商業施設建設案件などが予定されていることなどにより、2月段階で既に約4億ドルの投資が予測されています。日系企業のカンボジア進出が本格化しており、同経済特別区は日系製造業による投資の良質な受け皿となることが大いに期待されています。

関連リンク：外国企業の投資誘致に大きな期待-シハヌークビル港経済特別区で近く工場用地販売開始-
http://www.jica.go.jp/topics/2010/20100616_02.html

<この件についてのお問い合わせ先>

JICA カンボジア事務所 宮下陽二郎 (Miyashita.Yojiro@jica.go.jp)

Tel: +855-(0)-23-211-673

Fax: +855-(0)-23-211-67

所在地：6th, 7th, 8th Floors, Building #61-64,
Preah Norodom Blvd, Phnom Penh, Cambodia



海側からのアクセスロード



下水処理プラント



経済特別区管理棟（左側）と Container Freight Station(右側)